

千代田界隈のレトロな風景



ソノシート

ビニール盤に刻まれた音、見事に再現できました。

み
ど
り
の
風

2018.8.1
-NO.239-

人・ひと日記

小林

功

発行 社会福祉法人 悠朋会
相模原市中央区千代田2-4-1
千代田ディイサー・ビスセント
042-751-0672
ヘルバーステーション千代田
042-704-0261
千代田相談支援センター
042-707-1434

ホームページアドレス

www.yuhokai-kaigo.com

今回もお宝を見せていただきました。石井斎胤さん所蔵のソノシートとレコードのカタログです。昭和三十七年発行と書いてあります。ソノシートはレコードの代わりに薄いビニールに溝を切った録音盤のこと。LPレコードが二千円の時代に数百円で買えました。音飛びを防ぐためプレーヤーのアームには差がないとプロも認めていました。しかし、カセットテープが普及し当たりで長続きはせず、雑誌の付録などで見かける程度になり、今はデジタル時代に移り変わり、まず目にしないものになってしまいました。そこで今時レコードプレコードのカタログは「若いうたごえ」というブックで歌声喫茶で愛唱された曲が8曲、4枚のシートに収められていました。ところで今時レコードプレーヤーは？？我が家にもありません。そこでメイプルホールで有志が集まるアナログレコード同好会に持ち込みそこで試聴してみることに。若い参加者たちは興味深々。55年ぶりに針が落ちる緊張の瞬間。すばらしい高音の迫力でロシア民謡の「カリンカ」が謳い上げられました。大きなよめきと拍手が湧き上がったのは言うまでもありません。

円とというのはやはり「高級ステレオ」の広告があります。当時の価格で五万円の中間で聴くと立体的な臨場感が得られるところで若者たちの「いちばん欲しいもの」の一つでした。ステレオを聞く音源はもっぱらレコードとFM放送でしたが、FM放送が無かつた時代にAMでもステレオ放送をしていたことを知っていますか？二つのラジオ局が同時に同じ曲を放送したのです。たとえばNHK第一は左チャンネル、NHK第二は右チャンネルの電波を発信。家庭のステレオ装置は別々に受信して別々のスピーカーから音を出すという仕組みです。そうですが、いい音を追求する技術者達の情熱を感じます。信じられない！ことです。

ワールドカップが終わりました。フランスが優勝。最優秀選手にはクロワチアのモドリッチ選手が選ばれました。小さな体でひたむきに守り、攻め、パスを出し・・・決勝戦に敗れた寂しげな顔が印象に残ります。鈴愛ちゃんが道に迷った小雀のようです。律くんはもう戻つてこないのでしょうか？

アクティブサンデー：シャトレーゼ



今月のアクティブサンデーはシャトレーゼにその日のおやつを買いに出かけました。店内を色々と散策し、自分の食べたいものなどを見て回りました。お団子やケーキなど好きなものは沢山ありましたが、暑かったのでアイスが食べたいとなり、色々なアイスを選んでもらいました。デイに戻って、おやつの時間に色々な種類のアイスの中から自分の好きな物を選んでもらいました。皆さんいつも以上にペロッと召し上がり、昔はどんなアイスを食べたていたとか、自分の好きなアイスの話題で会話が弾んでいました。

消防避難訓練



いざという時に備えて消防避難訓練を実施しました。2階からスロープや外階段を使っての脱出訓練、水消火器での消火訓練です。利用者さんも真剣に取り組まれていました。

8月の予定

体重測定	6日(月)～12日(日)
キーボード演奏	12日(日)
折り紙	16日(木)
夏祭り	17日(金)、18日(土) 20日(月)
民謡ボラ	24日(火)
誕生会	25日(土)～31日(金)
シナプソロジー	31日(金)



おやつ作り：牛乳寒天



今回のおやつ作りはホットプレートを使い、フルーツ牛乳寒天作りを行いました。フルーツを切ったり、あんこを丸めたり、牛乳と粉寒天を混ぜたりと皆さんで分担しながら和気あいあいと行ない、とっても美味しくできあがりました。

フルーツ牛乳寒天の作り方

- 1、缶詰の果物と汁を分ける。モモは1cm大で切り分ける。そのあとは冷蔵庫で冷やす。
- 2、大皿にラップをかけ、あんこを10円玉大に分け、手であんこ玉にする。
- 3、ホットプレートを200℃に設定し、粉寒天、牛乳500mlを入れ、ゴムべらで混ぜ合わせる。
- 4、寒天が溶け、液が沸騰してたら砂糖を加えよく混ぜ合わせる。砂糖が溶けたらホットプレートの電源を切る。
- 5、残りの牛乳500mlを加えながらゴムべらで全体をよくかき混ぜる。温度が下がると急激に固まってしまうので手早くかき混ぜる。
- 6、寒天液にあんこ玉を乗せる。
- 7、固まってきたら、フルーツを寒天液の上に散らす。その後冷蔵庫に冷やす。
- 8、冷えて固まったら人数分に切ってお皿に盛りつける。

熱中症を予防しよう

熱中症とは毎年亡くなる方も沢山いるほどで、暑さによって体に起こる様々な異常や障害の事です。

高齢になってくると、感覚もなくなってきて、屋内でも熱中症になる危険が多くあるので、十分注意が必要です。



熱中症の発生は体温が上がる事と、体の水分が失われることが原因です。

暑い日は無理をしない　急に暑くなった日には特に注意しましょう。

外での運動、屋内でも蒸し暑い場所での作業等は控えましょう。

水分・塩分を適度に摂って休憩しましょう。

胃の負担にならない程度に失った水分と塩分の補給はこまめにしましょう。

涼しい服装を心がけ、外出時は帽子をかぶるようにしましょう。

体調が悪い時は危険！！　無理しないようにしましょう。

睡眠不足、風邪気味、下痢などの時には一層注意しましょう。

私の人生は人々だ(後編)

浅井 春恵

主人は仕事人間で朝早くから夜遅くまで働いていましたから、夜泣きを止めさせるのも抱いて歩く事が出来ないので大変でした。オムツは手と足を使って取り替えていました。病院などに出掛ける時には子供を買い物カゴに入れ行きました。お風呂だけはどうしても出来なく近所の方に手伝って頂いていました。『お風呂のおばちゃん』は娘2人もともお世話になり夏の浴衣を縫つて下さった事もありました。子供が歩くようになってからは外に出る時には手首に長い紐を繋ぎ出掛けました。「かわいそう」と言つた事もありましたが車にひかれるよりはと思い、知らない顔をしていました。色々な事がありましたが5人の孫にも恵まれました。あの時の看護師さんの言葉があつたから頑張れだと今は感謝しています。



左:浅井さん 右:知人の方

浅井さんの生活に欠かせなかった物は電動車いす、携帯電話、ストローの刺さったペットボトル、テレビ・エアコン・CDプレイヤーのリモコン。先日、面会に行つた時でもベットの上には3つのリモコンと携帯電話がありました。そして不意に鳴る携帯電話の着信音は「楽しんご」のドドスコスコスコ、ドドスコスコスコ♪でした(^_^A

浅井さん、ずっと元気でいて下さいねえ～ 渡辺

ンで一人暮らしをしていました。10年間の間訪問介護のヘルパーさんや訪問看護師さん、訪問入浴さん、ケアマネージャーさんにお世話になりました。ベットから起きられなくなり昨年に娘が探してくれた施設に入所することとなりました。食事も入浴もベットのままなので一日中寝ている状態ですが、身体が動かせなくなってしまつたので24時間ケアが受けられる施設は安心に過ごせています。特に夜は扉を開けて人の気配が感じられるようにしています。この頃はよく昔の事を思い出しています。夫の夢もよく見ます。今こうして暮らせているのも夫のお陰と感謝しています。

いちばん星の夏休み企画

猛暑の夏を迎えています。今年度はクラブ児童が増え夏休み期間の行事にも熱が入ります。指導員があの手この手と企画を練りました。そしてたくさんの方のご協力の声をいただいています。



行事予定

- | | | |
|----|----------------------|--------------------|
| 7月 | クラブ児童保護者の方のギター演奏鑑賞 | クラブ卓球大会 |
| 8月 | プール開放の活用（星小・中央小・横山小） | 相模原芸術家協会の方によるアート教室 |
| | ランドセルロッカーブル（理事長の協力） | 公民館主催の福祉体験教室への参加 |
| | アクア農園での収穫体験 &スイカ割り体験 | 映画教室 |
| | デイ夏祭り参加 視覚障害者の方との交流 | マジックショウと教室 |
| | エール堂さんによる彫塑教室 クラブ夏祭り | 等々 |